

強しなやかな  
JR産業を築くために  
組織と運動を磨き、責任ある活動を  
全力で推し進めよう!



JAPAN RAILWAY TRADE UNIONS CONFEDERATION

日本鉄道労働組合連合会

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-8-10 東興ビル9階  
TEL (NTT) 03-3270-4590  
FAX (NTT) 03-3270-4429  
1部20円(但し組合費に含む)

facebook

JR連合

(旧twitter)

JR連合

●発行者/荻山市朗 ●編集者/宮野勇馬

### 比例区重点候補 《連携産別等組織内候補》

はまの  
**浜野 よしふみ**  
【電力総連】  
《支援単組：JR西労組・JR東海ユニオン》



まっすぐに力強く。  
働く仲間のために!



たむらの  
**田村 まみ**  
【UAゼンセン】  
《支援単組：JREユニオン・JR東海ユニオン・JR四国労組・JR九州労組》



働く「仲間」の  
「笑顔」のために



もりや たかし  
【私鉄総連】  
《支援単組：JR北労組・JR西労組・貨物鉄産労・自動車連絡会》



働く者が報われる社会、  
平和で安心して  
暮らせる社会の実現へ



おざわ  
**小沢 まさひと**  
【JP労組】  
《支援単組：JR東海ユニオン》



「結」あなたと創る  
「国民が主人公の政治を」



## 第27回参議院議員選挙 JR連合の政策実現に向け 人物本位・政策本位の政治活動を展開しよう!

本年7月28日の任期満了に伴う第27回参議院議員選挙は、5月31日時点で選挙日程は正式決定されていないが、公職選挙法等の定めに従い、7月の実施が想定されている。

JR連合は「国会議員懇談会」所属議員を最重点候補、「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」所属議員を重点候補に決定して同選挙に臨む。とりわけ、日頃より各種活動において連携を図る産別等出身の候補4人については、昨夏の第34回定期大会で推薦を決定し、この間もより一層の連携を深めてきた。

来たる参議院議員選挙は、JR連合の政策実現につながる政治活動の重要性を改めて浸透させ、人物本位・政策本位の政治活動を各級機関で展開していく。

最重点候補である榛葉賀津也会長をはじめとする国会議員懇談会所属の4人は、JR連合の政策実現に向けて日頃より私たちの行事に参画するなど連携を深めるとともに、各種政策課題を受け止め、本会議や各種委員会における質疑など具体的な国会活動へとつなげてきた。また、JR二島・貨物会社の経営自立といった骨太の課題解決に向けてもそれぞれの人脈や知見を最大限に活かしたJR連合への支援を行ってきた。

比例区重点候補は、安全や政策の課題、労働条件等の課題共有を図るとともに、組織内候補の自治体議員選挙でも連携し、日頃より関係が深い4つの産別等（電力総連・UAゼンセン・私鉄総連・JP労組）の出身者であり、4人それぞれが実際に役員を務めていた。また、既に全員が「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」に所属しており、日頃より共有する課題に基づき、具体的な質疑等も展開してきた。まず電力総連出身の浜野

よしふみ議員は、国土交通委員会が持続的な地域公共交通の実現に向け、JR連合の政策提言に基づく質疑を行ったほか、環境委員会でJR貨物へのモーダルシフト推進に向けた質疑を繰り返し行ってきた。同様に私鉄総連出身のもりやたかし議員も、国交委員会において、JR二島貨物・整備新幹線・鉄道やバスといった地域公共交通に係る課題について繰り返し質疑を展開してきた。UAゼンセン出身の田村まみ議員は、JR産業が抱える労働法制やカスタマーハラスメントの課題も受け厚生労働委員会ですべての課題を掘り起こし、P労組の小沢まさひと議員とは、閑散線区におけるお客様の乗降介助といったフタ面の課題に対し、郵便局ネットワークを活用した解決を図ることができないか等の検討が続いている。

選挙区選挙では、改選期を迎える「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」所

### JR北労組に社会人採用者が加入

〈5月1日付〉

JR連合8万5000人の仲間は  
JR北労組への加入を歓迎します



国民民主党・玉木代表に重点政策を要請

国民民主党、立憲民主党に  
対する要請行動を実施した。

国民民主党代表をはじめ、  
国会議員・秘書あわせて総勢40人が参加し、立憲民主党要請時には、JR連合国会議員懇談会副会長を務める泉健太前代表、大島敦企業・団体交流委員長、小宮山泰子ネクスト国土交通大臣（国土交通部門会議）をはじめ、国会議員・秘書あわせて総勢50人が参加した。

JR連合からは荻山市朗会長ほか石川敏也産業政策局長らが参画。荻山会長は、4月25日で福知山線列車事故から20年を迎えることに触れつつ、  
「昨今JRの信用失墜につながる不安全事象が増えていることにも触れ、改めて労働組合として安全確立を追求していく決意を述べた。」  
石川局長からは、「JR

連合重点政策集2025-2026を用いて、主に「JR二島・貨物の経営自立」「持続可能な地域公共交通の確立」「高速鉄道・新幹線ネットワークの構築・推進」に向けた政策課題について説明。とりわけJR二島・貨物問題について、JR北海道の黄線区問題の総括的検証とJR貨物の線路使用料改訂が間もなく期限の2027年3月を迎える旨にも言及し、待たなしの状況にあることを強調した。

出席議員からは、JR貨物へのモーダルシフトのネッ

クとなつていく課題や、北陸新幹線のルート問題が一部で再燃していることを踏まえてのJR連合としてのスタンス等について質問が出された。

立憲民主党・大島企業団体交流委員長に重点政策を要請

### JR二島・貨物問題の 解決に向けた連携を要望

国民民主党・立憲民主党への要請行動

### 最重点候補 《国会議員懇談会》

【千葉県】 **長浜 博行** ひろゆき  
「対決」よりも「解決」  
給料を上げる。国を守る。




【静岡県】 **榛葉 賀津也** しんば かづや




【徳島県・高知県】 **広田 一** ひろた はじめ  
くらしによりそう  
社会の実現!




【広島県】 **森本 真治** もりもと しんじ  
平和・暮らし・  
ふるさとを守る




